

チョウ類の飼育を通じたビジネスで森林を保全（カンボジア）

カンボジアでは森林減少が急速に進んでいます。2005年から2016年にかけて国土の森林率が60%から45%程度まで低下しています。かつては豊かな森林が水源地として人々の主食となるコメの生産や淡水魚の生育を支えてきましたが、森林の急速な減少は人々の生活に深刻な影響を及ぼしています。森林減少の主要な原因の一つは地域住民の貧困で、森林地域に生活する人々は収入を得るために森林の伐採や農地転換を繰り返してきました。こうした状況を改善するためには森林を保全するためのインセンティブを高めることが重要です。

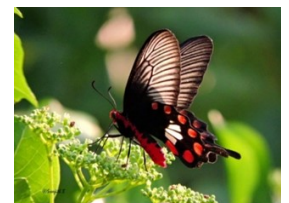
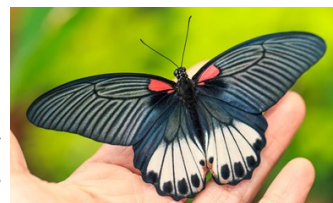
森林地域で生活する人々にとってチョウ類は身近なものです。そのチョウ類の飼育と適正なルートによる販売を通じて住民の生計向上に寄与するとともに良好なチョウ類の生育環境としての森林を守る取り組みが地域支援のプログラムとして注目されています。

チョウ類の飼育販売の代表的なものは標本用の蝶の取引です。しかし、近年、各種規制や生き物に対する価値観の変化からその規模は縮小しています。最近では蝶園や動物園などにおいて生体展示されるチョウ類の取引が主流となっており、1980年代に欧州で蝶園が普及し始めたのに伴い新たに誕生したビジネス形態です。この生体展示用のチョウ類の取引は熱帯や亜熱帯で養殖したチョウ類を蛹（さなぎ）の状態ですぐさま出荷し、欧米の蝶園などの消費地へ供給する形で行われます。2000年以降インターネットの普及や小規模空輸の利便性が高まるにつれてチョウの国際的な取引量は大幅に増えています。（※この取引は違法なものではなく適法な取引に基づくものです。）

JIFPROではカンボジアでチョウ類飼育ビジネスにより住民の生計向上支援に取り組んでいるNGOと協力して森林保全に繋がる新たなビジネスモデルの可能性を調査しました。その結果、参加農家の技術がなかなか安定しない、生き物を扱うためその飼育管理に長時間拘束されることから参加農家のモチベーションの維持が難しいなどの課題はありましたが、チョウ類飼育ビジネスによる収入を通じて地域の森林保全に繋がるコミュニティビジネスの可能性としては大きな手ごたえを感じたところです。同時に、チョウの乱獲を防ぎ、森林の生物多様性を高める取り組みも必要です。今後、日本のチョウ類飼育の技術や普及方法、森林保全の重要性を啓発する環境教育などを取り入れることにより、より実現性の高い取り組みとしてとりまとめる予定です。



中央カルダモン山地国立公園



森林内に生息するチョウ



対象種（チョウ）の採集



チョウ類の飼育に関する研修

コーヒー発祥の森を守るために（JICAプロジェクトの紹介）

エチオピアはコーヒー発祥の地と言われ、アラビカコーヒーがこのエチオピア南西部から他の国に伝わったことが確認されています。南西部の高地には、豊かな森林が残され、コーヒーの木が自生しています。この森に暮らす人々は、伝統的な利用権に基づいて最低限の管理をし、コーヒーの木から実を収穫し、自分で飲むほか、地元の市場で販売して現金収入を得てきました。

これまでJICA（国際協力機構）の技術協力プロジェクトでは、このすばらしい営みが受け継がれるよう、コーヒー豆の品質向上や、国際認証の取得による付加価値化を支援してきました。しかし、近年のエチオピアの発展に伴い、森林コーヒーを取り巻く環境も変化し、地域の農民もより金銭的な豊かさを求めるなか、森林の荒廃が進んでいます。プロジェクトでは、各集落にワブズと呼ばれる組織（森林管理グループ）を設立して、住民参加の森林管理の推進に加えて、コーヒー農家の収入向上を目的とした「森林コーヒー認証プログラム」を実施してきました。



JIFPROは2016年から「エチオピア国 REDD+及び付加価値型森林コーヒー生産・販売を通じた持続的な森林管理支援プロジェクト」に(株)国際耕種と一緒に参加し、活動を行ってきました。今年の3月以降、新型コロナウイルスのために現地に入ることができずリモートでの活動を余儀なくされましたが2020年10月をもって当初予定していた現地での活動を無事終了しました。（この文章は、プロジェクトが実施した日本国内研修(SCAJ)の冊子を参考にしています）

JIFPROへのご支援へのお礼

JIFPROでは皆様からご支援をいただき様々な活動を行っています。その「支援」として以下の三通りがあります。

種別	支援対象	回数	金額
賛助会費	JIFPRO活動全般	継続	定額
一般寄付	JIFPRO活動全般	一回から／継続	任意
熱帯林造成寄付	熱帯林造成活動	一回から／継続	任意

2020年度の皆様からのご寄付は、11月15日現在、以下のとおりとなっています。皆様からのご支援に対し、篤くお礼申し上げます。

「賛助会費」：約 54万円

「一般寄付」：約 5万円

「熱帯林造成寄付」：約 400万円



皆様の思いに応える活動を

これまで本newsletterでご紹介してきたようにJIFPROでは主に東南アジアを中心とした森林造成、森林保全に関する活動を行っており、特に皆様からご寄付をいただいて熱帯林を造成する活動は重要なものと位置付けています。ご寄付を受けるにあたって、JIFPROの窓口として様々な方とやりとりをしていて感じるのが、自然破壊や地球温暖化に対する皆さんの真摯な気持ちです。「現地での活動はできませんが少しでも役立ててください」「気持ちばかりの金額ですがよろしくお願いします」等々。また、企業の皆様の取り組みもCSR活動だけでなく、SDGsやESG投資などを意識するようになってきていると感じています。

JIFPROとしても皆様からいただいたご寄付で実施している活動成果をなるべく分かりやすく表現できるように工夫を行い、更に、熱帯林造成活動を推進していきたいと考えています。



ミャンマーでの植林



JIFPRO newsletter Vol.4 令和2年11月15日発行

編集・発行 / 公益財団法人 国際緑化推進センター 〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル5階

電話：03-5689-3450 / FAX：03-5689-3360 / E-mail: jifpro@jifpro.or.jp / URL: https://jifpro.or.jp